

イギリス HSE 破局的災害防止キャンペーン資料
滑り、つまずき危険地図作成(リスクマッピング方法)による安全管理

Slips and trips mapping tool

Part of the 'Shattered Lives' campaign Printed and published by the Health and Safety Executive
03/08 C100

<http://www.hse.gov.uk/shatteredlives/foodmappingtool.pdf>

この資料は食品小売業の管理者および安全担当者を対象としたものである。

このリーフレットは、管理者および安全担当者を対象としたものであり、作業場所のどこで滑り、転倒災害が発生しやすいか検討するために、また、これらの災害を防止するための簡単な実用的な解決方法を見つけることができるよう作成されている。

滑り、転倒災害は、報告された重篤災害の3分の1を占めている、これらのうちの90%弱は腕、手首および足首の骨折である。これらは、作業中に遭遇する最も一般的な危険源であり、約1,000名の労働者が被災している。

マッピング法は、潜在的問題点を確認する簡単な方法である。管理者または安全担当者は、デジカメにより作業場の滑り、転倒問題箇所の撮影と記録をすることができる。

リスクマッピング方法をどのように使用するか。

- －作業箇所をスケッチする(地図例参照)。
- －地図に、例えば過去12ヶ月間の滑り、つまずきの報告をマークする。
- －さらにヒヤリ、ハット事例も付け加える。
- －それらの場所での滑り、つまずきの原因について作業員から聞き取る。

問題点およびそれらの原因を確認したら:

- －それらについて作業員と監督者と話し合う、
- －いつ、どのような対策を行うか決定する。
- －合意された対策であることに留意する。
- －作業員に周知されていることに留意する。
- －対策が効果的であるかどうか継続的にモニターする。

リスクの有無のチェックリスト

- －作業箇所を調べ、潜在的リスクがあるかどうか確認するための作業方法(保全作業、清掃作業など)について検討する。
- －作業床の状態、修理または更新の要否を調べる。
- －濡れているとより滑りやすい床を調べる。
- －床に堆積している漏洩物を調べる。
- －適切に管理されていないまたは清掃されていない床の汚れ(雨天に履物による)に注意する。
- －段ボールを置いていたり、注意標識を長期間放置していたりするなどの臨時の対応に注意する。
- －建物の建築年数、構造に注目し、屋根の雨漏り、外部からもたらされる水、泥等に汚染される恐れがないかどうか考慮する。
- －散らかっている屋内通路、廃棄物の堆積の有無、一般的な乱雑状態、狭い通路、床上のケーブル等に注意する。
- －作業者の履物について、その作業に対して適当かどうか、状態はよいか、作業者に合っているかどうか、すべりの耐性はよいかどうかについて調べる。
- －困難な作業について関係者と話し合い、負傷の生じなかった墜落転落事案(ヒヤリハット)、滑りつまずきの記録を調べる。
- －病欠、事故記録簿、災害報告等を確認する。

スーパーマーケットのリスクマップ作成例

The example below shows how the risk mapping tool works

Name: Date:		Workplace: Supermarket				
Risk mapping diagram:				Key	Hazard	Control measure
				1.	Faulty mats	Change/repair
				2.	Trailing cable	Cover/remove
				3.	Water leak	Repair leak Fit drip trays
				4.	Spilt milk	Clean - check often - may require non-slip matting
				5.	Rubbish/cardboard	Requires good housekeeping - safe systems of work
				6.	Water ingress at back door	Check door seals, instal mats
				7.	Oil on floor	Find source, repair etc
				8.	Slips on fresh produce	Ensure good housekeeping, regular checks of floor area